

2025 年度（後期） 大阪健康福祉短期大学 聴講生募集要項

聴講生制度とは、学生等以外の一般に開放された本学の授業を聴講することにより、学習機会の拡大を図るための制度です。本学は、「教育の理念」に掲げているとおり、「地域と結びつき、地域住民の社会的要請に応え」、「健康と社会福祉の研究とその担い手の養成」を行うために、聴講生制度を実施します。

《聴講資格》

1. 高校卒業程度の学力を有する方
2. 聴講の目的が明確であり、学ぶ意欲のある方

《申請手続き》

1. 申請期間：2025 年 9 月 1 日（月）～9 月 10 日（水）必着
2. 提出書類：別紙「聴講生申請書」を簡易書留でお送りください。
3. 送 付 先：〒590-0117 大阪府堺市南区高倉台 1 丁 2 - 1

大阪健康福祉短期大学 堺・泉ヶ丘キャンパス 事務センター（入試）

※ 封筒に赤字で「聴講生申請書在中」と記入し、簡易書留でお送りください。

《選 考》

1. 方 法：書類審査及び面接
2. 日 時：2025 年 9 月 17 日（水） 10:00～
3. 場 所：大阪健康福祉短期大学 堺・泉ヶ丘キャンパス（※ 事務センターへお声がけください。）

《聴講科目について》

1. 聴講可能な科目数は、上限 5 科目までとします。
2. 履修登録後、一旦許可された受講科目の変更はできません。
3. 聴講可能な科目は、時間割及び別紙「2025 年度後期 聴講科目一覧」をご確認ください。
4. 聴講可能な科目や上限数は変更する場合があります。

《費 用》

1. 聴 講 料：1 単位につき 10,000 円
2. テキスト・教材費：別途自己負担
3. そ の 他：選考料、入学金、登録料等は徴収いたしません。

《その他》

- 聴講申請が認められましたら、「聴講許可書」と手続きに関する書類等をお送りしますので、書類に従い手続きを行ってください。
- 聴講生証を発行します。図書館等の本学施設を利用できます。
- 聴講を修了した方には、修了証が発行されます。但し、単位は付与されません。

(別紙)

2025年度 大阪健康福祉短期大学聴講生申請書

申請番号		※ 大学記入欄（記入しないでください。）				3cm×3cm 写真貼付 写真の裏面に 氏名を記入のこと	
聴 講 生	ふりがな						
	氏 名						
	生年月日	(西暦)	年	月	日生		
現住所	〒						
	電話		携帯電話				
学 歴 ・ 職 歴	(西暦)	年	月	高等学校	卒業		
	(西暦)	年	月				
	(西暦)	年	月				
	(西暦)	年	月				
	(西暦)	年	月				
	(西暦)	年	月				
	(西暦)	年	月				
	(西暦)	年	月				
希望在籍期間		年 月 ～ 年 月					
大阪健康福祉短期大学 学長殿 以下のとおり聴講を申請いたしますので、ご許可くださるようお願いいたします。 (西暦) 年 月 日 氏 名							
本学で聴講を希望する理由							
聴講を希望する科目		開講学科	単位	開講セメスター	聴講可否(本学記入)		
1		介護福祉 ・ 子ども福祉		1・2・3・4	可 ・ 否		
2		介護福祉 ・ 子ども福祉		1・2・3・4	可 ・ 否		
3		介護福祉 ・ 子ども福祉		1・2・3・4	可 ・ 否		
4		介護福祉 ・ 子ども福祉		1・2・3・4	可 ・ 否		
5		介護福祉 ・ 子ども福祉		1・2・3・4	可 ・ 否		

〈大学記入欄〉 ※ 記入しないでください。

学長	法人事務局長	事務長	事務長補佐	学科長	教務主任		担当

2025 年度後期 聴講科目一覧

《介護福祉学科》

No.	科目名	開講 セメスター	授業 形態	授業全体の内容の概要
1	認知症ケアの理解と支援 I	1	演習	認知症の医学的な知識や認知症の原因となる疾病について理解する。また、認知症の進行に伴う症状を理解し、生活とどのように関連しているかについて学び、その変化に対して適切な生活支援を実践できる知識を習得する。認知症の人が体験する喪失感や不安を理解し、認知症の人の思いに基づき、人権を尊重し尊厳を護るケアを実践できる。
2	こころとからだのしくみ (総論)	1	講義	学生自身が自らの体験を通して、こころとからだのしくみを理解できるように、体験とテキストからの学びを繰り返して行う。またグループワークを実施し学びを深める。
3	社会福祉概論	1	講義	生活と福祉の内容を、①生活構造・家庭生活の基本機能、②家族、地域、社会・組織の概念や機能・役割、③ライフスタイルの変化④生活の支援と福祉について学ぶ。 2.社会保障制度発達史や制度の仕組みを学ぶ
4	認知症ケアの理解と支援 II	2	演習	認知症の症状、原因となる疾患などの認知症の基礎的知識から、認知症の人の生活、社会との関わり等を理解する。また、認知症になったとしても、住み慣れた場所で暮らし続けるために、どのような支援や介護が必要になるのか、国の施策なども踏まえ、認知症ケアを実践していく力を養う。
5	発達心理学	2	講義	発達とは何か、生涯発達の概念、心身機能の加齢に伴う変化、高齢期の心理について概説する。
6	介護福祉倫理	4	講義	①人権とは何か人権擁護の歴史 ②介護福祉士としての倫理 介護福祉士会倫理要綱 ③介護福祉士に求められる職業倫理など、人権擁護の視点、専門職としての職業倫理観を養う上での幅広い内容を扱う。
7	統計基礎	4	講義	統計学の基礎的な事項である、代表値、分布、相関、検定について紹介し、身近な物事を測定するための方法や手続きについて、講義・演習を行う。

《子ども福祉学科》

No.	科目名	開講 セメスター	授業 形態	授業全体の内容の概要
1	日本国憲法	1	講義	日本国憲法は、国会・内閣・裁判所・象徴天皇制など統治構造にかかわる部分と平和主義、人権にかかわる部分からできています。ここでは、特に自由権、生存権そして子供の権利など重要な人権について講義し、一緒に考える。
2	教育原理（制度・経営的 事項を含む）	1	講義	教育の歴史と現状からその意義や目的について解説した上で、今日における教育的課題を提起し、その解決方法について考察する。
3	発達心理学	1	講義	発達のとらえ方、発達のみちすじ、発達に応じた保育・教育のあり方について基礎的な知識を学ぶ

4	保育内容（総論）	1	演習	子ども理解、発達過程、保育の計画、環境構成、援助のあり方等の知識や保育技術の基本を理解できるよう演習を行う。視聴覚教材等も活用して、具体的に学びながら子ども観・発達観・保育観の基礎を養うよう講義する。年齢・発達にそったに手あそび・ふれあいあそびの基礎を習得し、実習等で実践できるようにする。（教材制作予定）
5	子どもの遊び文化Ⅰ（入門）	1	演習	「子どもにとっての遊び」「保育としての遊び」「遊びの援助／指導」について、理論や事例を通じて学びます。また遊びの技能等の習得に向けてゲストスピーカーの招聘を予定しています。
6	子どもの保健Ⅰ	1	講義	子どもの健康に影響を与える因子と健康の指標との関係を概説する。保育所で問題となる感染症および食物アレルギーと事故の概要を理解しその予防対策について概説する。
7	保育内容（言葉）	1	演習	担当者による講義と、受講者による制作や発表を主とするグループワークを設け、言葉の機能（講義形式）と言葉を促す保育内容（演習形式）を学ぶ。
8	乳児保育Ⅰ	1	講義	乳児の発達に応じた保育のあり方について基礎的な知識を学び、乳児保育において必要とされる基礎的な技能を修得する。
9	保育原理	2	講義	・保育の目的・目標・役割、保育制度、保育の基本原則、保育方法、子育て支援などの保育の基本について講義をする。 ・保育の思想と歴史、わが国と諸外国の保育の現状と課題について解説する。 ・子ども・保育に関する事例から保育問題を考察することで、自身の子ども観、保育観を形成できるよう解説する。
10	教育課程論	2	講義	保育・幼児教育における計画・記録・評価の意義と位置づけ、方法について学ぶ。
11	子どもの遊び文化Ⅱ(遊び・プレイワーク)	2	演習	さまざまな遊びについて、実際に遊びながらその援助／指導していく力を身につけていくプログラムを展開します。また、遊びイベントの企画・運営を実際に行います。
12	社会的養護Ⅰ	2	講義	社会的養護理由の現状、社会的養護を必要とする子どもの権利擁護への取組、社会的養護の制度及び施設養護における日常生活・治療的支援、親子関係再統合などについてテキスト・資料等を用いて解説します。 また、学生に対して、講義中に課題シート等に解答し、提出することを求めます。
13	乳児保育Ⅱ	2	演習	乳児保育に必要な知識を実践的に理解し、発達にあった乳児保育の技能を身につける。発達・月齢・年齢にあった手あそび・ふれあいあそびの基礎を習得し、実習等で実践できるようにする。（教材制作予定）
14	障害児保育	2	演習	障がいについての基礎的な知識と保育上の留意点について学び、関係機関の種類と役割を知り、連携の必要性について学ぶ
15	教職論	4	講義	テキストや資料を中心としながら、これまでの実習経験や現場における事例に基づき授業を進行する。また同時に、テーマにそってディスカッション、ディベート、グループワーク等を行う。

16	社会福祉	4	講義	現代社会における社会福祉の意義と歴史の変遷や社会福祉における子ども家庭支援の視点について理解する。また、社会福祉の制度や実施体系について学ぶとともに、社会福祉における相談援助や利用者の保護にかかわる仕組み、社会福祉の動向と課題について理解する。
17	教育方法論	4	講義	教育の方法に関する知識(歴史を含む)を理解し、その理論的到達点を踏まえた上で、子どもたち一人ひとりに寄り添う教育活動を展開するための方法論について考察する。
18	子どもと学習活動	4	講義	長年、幼児教育に携わった実践家の論考から、子どもにとっての学習活動の意義を考察する。後半は「森のようちえん」の実践を分析することを通して、自然体験が子どもの成長・発達に果たす役割について学ぶ。

* * * 受講方法等について * * *

1. 履修登録手続き

聴講が許可された科目について、履修登録手続きを行ってください。手続きの説明等については、別途ご連絡いたします。

2. 授業時間

授業時間は以下のとおりです。

時 限	時 間
1 限	9 : 0 0 ~ 1 0 : 3 0
2 限	1 0 : 4 0 ~ 1 2 : 1 0
昼休み	1 2 : 1 0 ~ 1 3 : 0 0
3 限	1 3 : 0 0 ~ 1 4 : 3 0
4 限	1 4 : 4 0 ~ 1 6 : 1 0
5 限	1 6 : 2 0 ~ 1 7 : 5 0

3. 時間割について

お渡ししている時間割は、現時点で決定された最新のものです。授業日程が変更になる場合がありますので、ご了承ください。

4. 後期授業開始日

介護福祉学科：9月29日（月）

子ども福祉学科：9月24日（水）

5. その他

受講開始後は、聴講生のみなさんへの伝達事項は、掲示板および Google Classroom で連絡いたします。必ず確認するようにしてください。

介護福祉学科 時間割

2025年度後期

[illegible]

[illegible]